

問 集会所の建設、無計画でないか

答 29C行政区の集会所、 地元の要望を聞き対処

杉本五郎 議員

問 (1) 集会所の設置基準が不明確で、町長選挙の度に利益誘導の具にされて

いる、とのうわさが絶えない。

(2) そのためとは言わないが、1行政区に複数の集会所があったり、700を越す世帯のある行政区に集会所がなかったり、不公平な配置となっている。

(3) また恵まれている所は、集会所の他に更に独立の公民館分館のある所もある。なぜこうなったのか。

(4) 建て替えの基準もあいまいで、北船岡の集会所は、平成4年度の実施計画で平成6年度に建て替え予定になっていたが、いつの間にかはずされ他の地区で次々建て替えられている。

答 滝口町長 (1) 集会所の建設が政治的に使われた等と言われないように、今後地区民の要望や意見を聞き、年次計画を立てて進めていく。

(2) 集会所の新設は平成9年度で一応終わったと認識していたが、29C行政区に集会所がないのは不自然で、今後地元の要望・意見を聞き対処していく。



改築が待たれる集会所

(3) 独立分館は現在4カ所あるが、これは分校廃止の際に分館としての活用を図ったものと聞いている。

(4) 建て替えについては40年代に新築されたものを対象に、老朽化や破損度を考慮し、多くの方々の意見を聞き公平に優先順位を決めていく。

問 どう活用されている ビデオシネマシステム

答 これからも有意義に
使っていきたい

舟山邦夫 議員

問

町が町民のお金で買ったものは、町民のために活用されなければならぬ。つまり町民に利用されて初めてその価値がでる。
利用されないものは、どんなに良い物でも結果としては税金の無駄使いである。

そこで町当局にお聞きする。

(1) 平成7年に2千650万円で購入した槻木文化センターのビデオシネマシステムは現在どう活用されていますか。
(2) 学校教育における映画の活用をどう考えますか。



槻木文化センタービデオシステム

答 滝口町長

(1) このシステムは29種類の機械で構成されており、介護教室のビデオ上映などそれぞれの用途に応じて使用されている。

平成13年度では町主催で26件、一般20件、計46件の利用があり、シネマ名画劇場は年2・3回実施している。

太田教育長 (2) お話しのような兄弟愛をテーマにした映画を子供達に見てもらい、疑似体験をってもらうことは教育上意義のあることと考える。